

大阪における 社会福祉の歴史 I~V +特別号

2004(平成16)年から2008(平成20)年の5年間にわたり、大阪市社会福祉研究会と大阪市社会福祉研修・情報センターの共催により実施した「社会福祉の市民講座」で発表された大阪の福祉に取り組んだ先達の活動を冊子としてまとめました。
さまざまな実践の歩みを振り返り、次代の大阪らしい実践に向けて多くの示唆を与える内容と、当時の資料をまとめています。

FAXでの申込み及びセンター1階事務室で販売中!



I

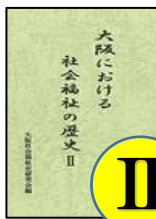
2007年3月発行

“福祉パイオニアの群像”

- 非行少年たちの母として 一池上雪枝 ●福祉施設をつくった侠客 一小林佐兵衛
- 寄る辺なき老人の杖として 一岩田民次郎 ●家なき子の親たち 一小橋勝之助・実之助と林歌子

“地域福祉の源流”

- 石井記念愛染園の活動 一なにわセツルメントの先駆け
- 方面委員の誕生 一民生・児童委員の前身はどのようにして生まれたか
- 北市民館の活動 一はじめての公営セツルメント●大阪におけるセツルメント運動とその現代的性
- なにわ福祉風土記一福祉の魁(さきがけ)を育んだ大阪(なにわ)の人と町



II

2010年3月発行

“福祉パイオニアの群像”

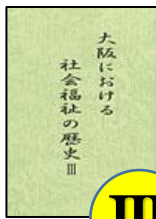
- 大阪医療福祉実践の源流 一ランニング、アダムス、テイラー、山田俊卿と明治期の民間活動

“障害者福祉の先駆者 なにわ流の挑戦”

- 大石順教尼と「腕塚」一無手の身で障害者を励ます
- 中村京太郎と「点字毎日」一世界唯一の点字新聞の話
- 盲ろう児教育と「福祉」一私立盲啞院から始まった大阪のろう・盲教育
- 岩橋武夫の道 一義務ゆえの道行 ●岩崎佐一と「桃花塾」一知的障害児の先駆け

“先達に聴く大阪の民間社会福祉”

- 大阪における高齢者保護事業の始まり ●行政と福祉事業



III

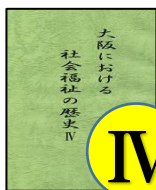
2012年3月発行

“警察畑から「福祉」の美田を拓く一治安より救済を”

- 巡査あがりのが日本の社会事業を拓く 一池上四郎(大阪市長)と天野時三郎(社会部長)
- 武田慎治郎の思想と実績 一修徳学院と武田塾の創設
- あいりんと大阪自彊館の歴史 一中村三徳と大阪自彊館
- 大阪の慈恵事業第3セクター 一稲田穰と弘済会

“大阪のセツルメント運動一開拓者の人となりと福祉思想”

- 四恩学園の創設 一林文雄の生き方と仏教福祉思想
- 生野セツルメントから大仙保育園へ 一八田豊子の人と事業
- 大阪毎日新聞慈善団と聖和社会館の接点について 一村嶋歸之の思想についての小考察
- 吉田源治郎と四貫島セツルメント 一その働きとセツルメント思想



IV

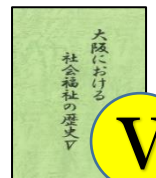
2013年3月発行

“大阪の戦後混乱期の社会福祉事業”

- 「浮浪者(児)」の心に響け、「愛の鐘」 一梅田厚生館と五十嵐兼次
- 大阪福祉事業財団の創設と展開

“変貌する市民生活と社会福祉の発展一1960年代の大阪”

- 家庭養護促進協会のはじまりと発展 ●大阪医療社会事業協会のはじまりと発展
- 「釜ヶ崎」の不就学児童と地域 ●障がい児保育のはじまりと発展
- 老人福祉法の制定と高齢者福祉の発展 ●大阪ボランティア協会のはじまり



V

2020年3月発行

“大阪市社会福祉行政・施策の先駆性”の側面として元大阪市民生局スタッフの取組みを収めたもの

- 民生安定所の創設一全国初の福祉事務所一 ●高齢福祉施策について
- 障がい福祉施策について ●児童福祉について

座談会 大阪市福祉行政の先駆性

特別号「大阪社会事業ボランティア協会の軌跡」

1948(昭和23)年10月に設立された大阪社会事業ボランティア協会当時の活動や変遷を紹介するとともに、歴史的「転換期」における「公私関係のあり方」と「社会福祉実践における主体性」を関係づけて、今日的課題に多くの示唆を与える内容と、当時の資料をまとめました。執筆：岡本榮一(大阪社会福祉研究会)



2008年3月発行